

Q 1年たつごとに生徒数の減少が進むのであれば、あり方検討委員会の意見を尊重しながらも、子供の減少とあり方を決める一番いい時があるのではないかと思う。その時を逃さないよう、教育委員会にはリーダーシップを発揮し、進めていただきたいがどうか。

A 教育長 教育環境が子供たちの将来に支障を来すに至るまで状況を捨ておいたり、追い込まれたりするということはあるのではないかと考えています。そうならないようには、教育委員会の責任であるとして、強く認識しておりますので、そういう意味で、リーダーシップを発揮してまいりたいと思います。

Q 土曜授業の実施に係る学校教育法の一部改正について、どう考えるか。

A 教育部長 一部検討は進めています、引き続き検討していきます。

高齢者対策について

Q 市営住宅の現状はどうか。

A 都市整備課長 市営住宅の戸数や構造等については、別表のとおりです。現在は全て入居されており、世帯主の年齢が40代の世帯が最も多く21・2%です。

Q 世帯主が65歳以上の世帯は40・4%であり、全員が65歳以上である世帯は36・4%となっています。单身世帯は全体の39・7%、うち65歳以上の单身世帯は28・5%です。

Q 市営住宅の今後の課題についてはどうか。

A 都市整備課長 まず、バリアフリー等の対応もなく、高齢者の入居に対して不十分です。昭和40年代に建築された住宅は、老朽化が激しく、維持管理費がかさんでいます。高齢者の居住の安定確保に対する施策など、

別表 市営住宅の現状

所在地域	住宅名	戸数	築年	構造	家賃
旧成東町地域	白幡住宅	91戸(うち4戸使用停止)	昭和44年	簡易耐火	7,200円～19,700円
〃	和田住宅	14戸	昭和59年	簡易耐火	14,200円～39,800円
〃	上町住宅	24戸	平成8年	中層耐火	22,400円～57,700円
旧松尾町地域	桔梗台住宅	28戸	昭和44年	簡易耐火	8,100円～33,900円
	計	157戸			

今後の市営住宅のあり方について検討する時期にきていることが、大きな課題です。

Q 市営住宅の自治管理状況はどうか。

A 都市整備課長 4カ所の住宅のうち、白幡住宅、桔梗台住宅は、区として管理をしています。ほかの2住宅については、このような状況はありません。

Q 和田住宅と上町住宅は自治管理状況がないとは、市営住宅内で問題が起きた際には、その都度、個人が市へ直接要望にきて、それを一つ一つ解消しているという状況か。

A 都市整備課長 自治管理がされていない、2住宅については、そのような状況です。

Q 自治管理を指導されるのはどうか。管理人はどのような状況か。

A 都市整備課長 管理人を置くことができると条例でも定められているので、まずは管理人

を設置する方法を優先的にやらせていただいて、進めていきます。

Q 緊急通報システムについて、現在の設置数と緊急出動の数はどうか。

A 保健福祉部長 本年1月末現在の設置数は、445台です。本年度の救急車の出動要請件数は、1月末で13件で、昨年度1年間

では24件です。

Q 横芝光町から勝浦市までの沿岸部の海抜表示板と避難誘導看板について調査した結果、海抜表示板だけで誘導看板が少ないことや、統一性がなかった。



海抜表示看板